

上島町公共施設あり方検討協議会における検討結果一覧

《統廃合等を進めるべき施設》 36施設

施設用途分類	施設名称	担当課意見	協議会意見	検討事項等	担当課再検討
住民交流文化系施設	三分団集会所	生名開発総合センターと利用形態が重複しており、施設規模、施設の現況から生名開発総合センターに機能を集約し、サテライトオフィス等の企業誘致等に活用。	・集約、統合するのは賛成である。 ・統廃合して、一つの施設の利用度を高くした方が良い。	機能を生名開発総合センターに集約し、廃止を検討。	避難所に指定されているため存続。
	岩城コミュニティセンター	岩城地区のコミュニティ活動の場としての代替施設がなく、経常経費も必要最低限の保守管理費用のみであるため存続。	・他の施設と比較すると利用人数が非常に少ない。 ・岩城開発総合センターを利用すればコミュニティセンターがなくても会合等はできるのでないか。 ・2、3年様子を見て、利用者が少ないようであれば、岩城開発総合センターを利用する等検討してはどうか。 ・集会、健康増進等については、岩城保健センターもあり、他の施設で十分補えるのではないか。	岩城開発総合センター、岩城保健センター等への機能の集約等を再検討。	経常経費も必要最低限の保守管理費用のみであるため、岩城地区のコミュニティ活動の場として存続。
	弓削老人福祉センター	気軽に地域で利用できる施設として定着しており、一部、一般企業に貸与しているため存続。	・あと数年で耐用年数を迎えるが、大幅な改修を行うのか、建替えるのか等、検討する必要があるのではないか。 ・各施設において、サークル活動等で利用しているところがあるが、集中させることで空く施設があるのではないか。町で精査する必要があるのではないか。	大規模改修等が必要となった際の建替え等について要検討。 他施設への機能集約についても再検討。	上弓削地区の公民館、集会所としての機能のほか、企業に一室を有償貸与しており、使用頻度が高い状況である。また、避難所機能や防災倉庫としても利用している為、老朽化しているが、大規模改修を行い存続。
社会教育系施設	弓削中央公民館	令和4年度から利用を中止し、廃止又は取り壊しとする。 代替施設としては、せとうち交流館、生名開発総合センターの活用を検討。	・既存の公民館は、職員等も不在で公民館としての利用ができていない。 ・代替施設に集約するのであれば、職員等を常駐させ、施錠開錠が常にできる施設とすれば、利用も促進されるのではないか。 ・解体後の跡地には、弓削、岩城を統合したバス車庫を整備してはどうか。	弓削高校寮の建設場所に決定。	令和6年度ゆめしま寮建築に伴い、解体済
医療施設	高井神出張診療所	無人島化する可能性もあるため、診療に支障がない程度の最低限の修繕でしばらくは存続。	・現時点で診療所を解体して、代替施設へ移した方が良いのではないか。		災害時の避難所に指定されている高井神集会所と併設されているため、解体ができないことと、もう暫くは現施設での診療が可能であると考えられることから、当面は現状のまま存続。
行政系施設	弓削総合支所	本町の行政施設は、住民一人当たりの延床面積が県内9町の中で最も広く、近隣の類似団体比較しても広い状況である。 今後、更なる人口減が見込まれており、維持管理費等の軽減を図るため、魚島総合支所を除く、3総合支所の集約化に向けた検討を行う。	・魚島総合支所を除く3総合支所について、集約化に向けた検討を行うことが妥当である。 ・集約化後の空きスペース等の活用についても検討すべき。	魚島総合支所を除く、3総合支所の集約及び集約後の空きスペース等の利活用を検討。	弓削総合支所については、過去に大規模改修工事を実施していること、また個別施設計画においても長寿化の方針であることから今後も計画的な改修を行いたい。 組織のあり方も含め、引き続き検討。
	生名総合支所				
	岩城総合支所				

施設用途分類	施設名称	担当課意見	協議会意見	検討事項等	担当課再検討
消防施設	全般（21）	地域の消防団と協議を行いながら集約化を図っており、地域の消防活動に必要な施設であるため存続。	・ある程度距離があっても車等で行って、消防車に乗り換えることができるので、集約は可能。	集約化を検討。	消防車庫老朽化による更新については理解を得られたものの、集約については初動の遅れや地域防災力の低下が懸念される事などの理由から継続協議。
定住促進住宅	高井神第2住宅	新基準で建築されており、現在、入居者もいるため存続。	・1棟に集約して建替えることを検討してはどうか。	1棟への集約を検討。	どちらか一方が、全て空き部屋になった際に統合を検討したい。また高井神「漫画の学校プロジェクト」が令和6年度より開始されているため、住宅需要の見込みを慎重に見極めたい。
	高井神第3住宅	新基準で建築されており、現在、入居者もいるため存続。			
その他建築系公共施設	やすらぎ苑	やすらぎ苑に機能を集約し、弓削斎場は閉鎖、天翔苑は使用を休止し、緊急用として存続。	・概ね担当課の方針が妥当との意見であるが、住民への説明会を開き、理解を得る必要がある。 ・増炉等の場合には、岩城橋の通行に影響が出ないように検討を行う必要がある。	集約化、やすらぎ苑の増炉の検討。	やすらぎ苑に機能を集約し、弓削斎場は令和6年度末閉鎖、天翔苑は使用を休止し、緊急用として存続。 （やすらぎ苑の増炉は必要ない見込み）
	天翔苑（休止）				
	弓削斎場（R6廃止）				
	バス車庫（2）	バス車両の維持管理に必要な施設のため存続とするが、随時必要最小限の修繕対応を行い、建替え時期の検討を行う。	・弓削と岩城のバス車庫を統合したバス車庫の整備も検討すべき。 ・立石港が主要港となるため、生名にバス車庫を整備して、生名を拠点としたバス編成を検討してはどうか。	弓削、岩城を統合したバス車庫の整備を検討。	車庫の統合による費用削減より、それに伴う費用の増加及び利便性の低下が発生することから、現状では必要最小限の修繕などの維持管理を行いながら、可能な限り現施設を有効活用していき、今後時刻改正を行うと伴に、再度、バス車庫のあり方についても検討していく。

上島町公共施設あり方検討協議会における検討結果一覧

《廃止、売却等を進めるべき施設》11施設

施設用途分類	施設名称	担当課意見	協議会意見	検討事項等	担当課再検討
観光・レクリエーション系施設	津波コミュニティアイランド	ログハウスについては、縮小建替えを検討することとし、施設全体としては、改修・修繕をしながら存続。	・町として残していく必要があるのか。廃止としても良いのではないか。 ・現施設が老朽化した後は、建替え等を行わず、トイレと水道施設程度にしてはどうか。 ・ログハウスについては、縮小建替えという方向性を重視してはどうか。	廃止、縮小等について再検討。	コアなキャンパーの方々に利用いただき、無人島キャンプができるという上島町の観光資源として活用している。また、施設を存続することで、指定管理者による草刈り等、島の環境美化にも努めている。 ログハウスについては、利用者数も少なく老朽化しており、今後は縮小することとし、レストハウスについては、最低限の修繕等により維持存続。
産業系施設	岩城農水産物処理加工施設	代替施設がなく、地元の人も利用する施設であるため存続。	・本来、町が所有しておく必要がある施設なのか疑問がある。 ・払い下げれば良いのではないか。 ・この町民の利用頻度で存続というのはありえない。	払下げを検討。	当該施設は、地域資源でもあるレモンを中心とした柑橘類の販売・レモンを主原料とした加工品・特産品化を行っているとともに、加工施設の一部の特産品開発に意欲的な団体に貸し出しを行っているなど、更なる特産品開発を行う町内唯一の施設であるため、維持存続。
	魚島中間育成水産施設	代替施設がなく、愛媛県漁業協同組合魚島支所で管理されている施設であるため存続。	・現状では、利用が可能のため存続で良いと思うが、大規模な修繕等が必要となった際には、どうするか決めておく必要がある。 ・中間育成のために整備した施設であり、現在、中間育成が行われていないのであれば、どのように利用されているのか把握しておくべきであり、利用状況等の報告が必要ではないか。 ・存続とするのは難しいのではないか。	大規模な修繕等が必要となった際の対応の決定、利用状況報告が必要。	当該施設は、陸上にて稚魚育成を行い、幼魚の放流を行う事で、漁獲量増加を目的に設置された。現在は稼働してないが、漁獲量が低下した場合は、再稼働も考えられることと、補助金適正化法の対象施設であることから、補助金適正化法の対象外となったら、利用者と協議し、払下げ対応を検討したい。
	生名農産物集荷場	生名地区においては唯一の集荷場であるため存続。	・払い下げてはどうか。 ・岩城の集荷場と統合しても良いのではないか。	払下げ、岩城集荷場との統合ができないか検討。	当該施設は、生名地区唯一の柑橘類の集荷施設であるとともに、災害時の支援物資仮置き施設として利用した実績もある広い倉庫であるため、維持存続。
定住促進住宅	高井神第1住宅	耐用年数も過ぎており、長期間入居もなく、設備等も経年劣化しているため廃止。	・施設の廃止が妥当である。	施設の廃止を検討。	高井神「漫画の学校プロジェクト」が令和6年度より開始され、住宅需要も見込めるため、令和6年度中に譲渡等の公募を進める予定。
その他建築系公共施設	全般（6）	個人に貸付けている建物については、将来的に払い下げる方向で協議を進める。 悪水ポンプ施設については、浸水被害防止のために不可欠な施設であるため存続。 その他の施設については、使用可能な間は使用することとし、使用が困難となった際に解体等の検討を行う。	・普通財産の建物については、他の施設とは性質が異なっており、引き続き、貸付け、払下げ等を行うべきである。		引き続き未使用財産の売却や貸付を促進する。

上島町公共施設あり方検討協議会における検討結果一覧

《施設のあり方について再検討が必要な施設》45施設

施設用途分類	施設名称	担当課意見	協議会意見	検討事項等	担当課再検討
住民交流文化系施設	下弓削中央集会所	弓削地区の公民館的役割を果たしている施設であり、近隣に代替施設もないことから、軽微な修繕をしつつ、建物の安全性が確保される間は存続。	・単独で協議するのではなく、同種の施設を天秤にかけて協議したほうが良いのではないか。	地区集会所も併せて再検討。	弓削地区の老人クラブ活動など公民館的役割を果たしている施設であり、近隣に代替施設もないことから、軽微な修繕をしつつ、建物の安全性が確保される間は存続。
	岩城構造改善センター （海原集会所）	地域コミュニティ活動の拠点として大切な施設であるため存続。	・住民からは統合の話はできないので、町が主導して集会所を統合すると言ってくれると良い。 ・小さな部落は負担が大きくなってくる。地区の統廃合も考えて集会所をどうするかという話をさせていただかないといけない。 ・地区の統合について、自治会からは言えないので、町からの命令ではなく、指導という形でやっていただけると助かる。 ・建物の統廃合も地区の統廃合と同時進行で考えるとスムーズに話が進む。		当該施設は、研修並びに地域住民の集会等の場所を提供するため設置した施設で、現在でも、当該地区の地区行事・秋祭りの練習など様々な場面で活用されており、地区住民の交流の場及び地域コミュニティ活動の拠点とし活用している。また、当該施設の簡易的な修繕は施設管理者である地区により実施し、適切な管理が行われているので、今後も当該施設の有効活用をするとともに存続のため、経費節減に努めたい。
	全般（38）	上島町公共施設等総合管理計画において、将来の人口減少、施設の老朽化状況等の動向を踏まえて、類似する機能を有する他の公共施設との集約化も考慮して、統廃合等を検討することとしていることから、数量の縮減を検討。	・集会所を利用する方の年齢等を考慮すると、距離の離れたところに集約すると非常に不都合ではないか。 ・高井神集会所は、高井神公民館もあるので、集会所部分を解体して、隣接する診療所は確保する方向で良いのではないか。 ・各地区の成り立ちや、その地区ごとの行事等があるので、統合した場合に不都合がある。 ・戸数も減ってきて、将来的には、地区の合併というものも視野に入れて検討しなければならないが、まだ時期尚早ではないか。 ・集会所の統廃合等について、ケースごとに原則的な考え方を決めておき、状況に応じて個別に協議してはどうか。		地区住民の意向を優先にしつつ、利用頻度や老朽化などを考慮して、統廃合、民間への貸出や売却を検討していく。
	地区集会所の統廃合等の判断基準	老朽化等により施設が使用困難となった際、又は世帯数の減少等により地区での維持管理が困難となった際に、近隣に代替となる施設がある施設、又は使用頻度が著しく少ない施設を対象として統廃合を検討する。 耐用年数を超過している施設については、大規模改修は行わない、建替えの必要が生じた際には、複数の施設を集約して建替える。	・集会所が近くにないと困る地区も出てくる。 ・統廃合の判断基準を町で決定して、行政の方から地区に統廃合を投げかけていただきたい。		

施設用途分類	施設名称	担当課意見	協議会意見	検討事項等	担当課再検討
観光・レクリエーション系施設	海水温浴施設「潮湯」	医療資源に乏しい当町において、障害のある方、リハビリに利用している方、体力及び筋力維持を目的に利用されている高齢者も多いことから存続。	・施設を維持していくのであれば使用料の改定を検討することが必要ではないか。 ・太陽光発電等、再生可能エネルギー設備を整備して、電気料金を下げること考えるべき。 ・「存続」するためにどうするか具体的なハード面、ソフト面の検討が必要である。	料金の改定、再生可能エネルギーの活用等、存続するための具体的な対応を検討。	令和10年度を目途に運営を継続。その後主な利用者である高齢者層の減少が見込まれるため、廃止を検討。また、経営効率化を図るため周知方法を見直し集客につなげる。
保健・福祉施設	岩城保健センター	健康診断、健康教育、健康相談等を行っており、地域の方々の健康を守る、また身近な相談施設として必要があるため存続。	・職員を配置すると費用もかかってくるが、住民サービスの低下につながらないかと懸念する。 ・検診等について、保健センター以外の施設で実施が可能であるなら、統合等について考える余地があるのではないか。	統合等について再検討。 (参考) 住民一人当たりの面積 上島町：0.31㎡/人 県内他町平均：0.11㎡/人	弓削保健センター、岩城保健センターは用途変更もしくは廃止を予定。 なお、生名保健センターに業務を集中させることにより、健康推進課の各種事業を行う。
	弓削保健センター				
	生名保健センター				
	岩城高齢者交流会館「友愛会館」	町全体の高齢者福祉の増進や世代間交流の促進を図るため存続。	・近い場所に同じような施設が3つ（岩城保健センター、岩城高齢者生活福祉センター、岩城高齢者交流会館）あるが、存続しないといけないのか。（集約できるのではないか。）	岩城保健センター、岩城高齢者生活福祉センター等へ集約できないか検討。	現在も岩城の老人クラブが自主的に管理しており、白蟻防除、消防設備点検、修繕のみ担当課で管理している。高齢者の生きがいつくりに寄与しており、使用頻度も高いことから建物の耐用年数（R36年度）もしくは、高齢者人口が大きく減少するまで存続。

上島町公共施設あり方検討協議会における検討結果一覧

《存続することが妥当である施設》120施設

施設用途分類	施設名称	担当課意見	協議会意見	検討事項等	担当課再検討
住民交流文化系施設	弓削開発総合センター	集会施設、文化協会、スポーツ協会の活動等、利用頻度が高く、佐島区内には同規模の施設がなく、他の施設との統合も難しいため、長寿命化を図りつつ存続。	・施設の長寿命化を図り存続とするのが妥当である。		長寿命化を図りつつ存続。
	生名開発総合センター	耐震、大規模改修を実施しており、建物の健全度は高いが、利用が少ない状況のため、他施設を廃止等した場合の代替、複合施設として活用。	・現状で利用しながら、他の施設を統廃合して代替施設として使用する形で良い。		当面は存続しながら、他施設との統廃合も検討。
	岩城開発総合センター	近隣に代替施設がなく、岩城中学校及び地域住民の体育館として利用頻度も高いことから存続。	・施設の長寿命化を図り存続とするのが妥当である。		長寿命を図りつつ存続。
	魚島開発総合センター	広い分野で利用可能な施設であり、避難所としても指定されており重要な施設であるため存続。	・施設の長寿命化を図り存続とするのが妥当である。		広い分野で利用可能な施設であり、避難所としても指定されており重要な施設であるため存続。
	魚島地域交流施設	漁協の事務所も併設しており、島で唯一の魚島商店としても活用されている。地域住民にとって、生活の拠点として活用されている重要な施設であることから存続。	・施設の長寿命化を図り存続とするのが妥当である。		地域住民にとって、生活の拠点として活用されている重要な施設であることから存続。
	せとうち交流館	交流室（体験交流室・大ホール）の代替施設はあるものの、図書スペース等を含めた複合施設としての代替施設はないため存続。	・施設の長寿命化を図り存続とするのが妥当である。		交流室（体験交流室・大ホール）の代替施設はあるが、調理可能施設や図書室、おはなしコーナー等他施設にはない機能が備わっているため、長寿命化を図りつつ存続とする。
社会教育系施設	岩城郷土館	計画が進行中の資料館との連携等を含めた新たな活用方法を検討しつつ、上島町指定文化財（建造物）であり、保存対象であるため存続。	・町内小学校、中学校が見学に行く等の有効活用を図るべき。 ・この施設に行けば、各島の歴史を見ることができるというのも一つの案。	有効活用について検討。	修復後40年以上が経過し、施設の老朽化が目立っているが、年間約500人の来館者がある。そのため、文化観光施設として再整備を行う予定である。
	高井神公民館	島内に鉄筋コンクリート造の建物が他にないため、避難施設として存続。	・無人島になる可能性もあり、無人島化してから施設の閉鎖を考えてもよい。 ・島内に他に大きい建物がないので、避難場所としても存続したほうが良い。		唯一の鉄筋コンクリート造の建物であり、避難施設となるため存続。屋外スペースは、雨天時でのイベント開催等で幅広く利用されている。

施設用途分類	施設名称	担当課意見	協議会意見	検討事項等	担当課再検討
社会教育系施設	魚島中央公民館	魚島開発総合センターの4階部分に設置されているため、魚島開発総合センターの方針にあわせて存続。	・他の施設との複合施設となっており、人口が減少していく中では、あるべき姿。 ・避難場所にも指定されており、存続が妥当である。		設置されている魚島開発総合センター自体が地震等の避難場所と指定されており、存続が妥当。
スポーツ系施設	いきなスポレク公園	合宿も含め、県内外からの利用者も増加しつつあり、他の施設を廃止した場合等の代替施設、複合施設としての活用も可能なため存続。	・地理的には不利だが、安価に利用できるメリットをどんどんアピールしていくことで、もっと集客可能な施設である。 ・他にはない施設であるので、費用はかかっても存続で整備していただきたい。		長寿命化を図りつつ存続とする。 合宿誘致等、徐々に効果が出ているため、引き続き、集客に努めていく。
	佐島体育館	佐島地区における避難場所として代替施設もないため存続。	・島内に高台にある代替施設がなく、避難所としての必要性が高いため存続とするのが妥当である。 ・存続とするのであれば、登り口の坂を広げて欲しい。		・当面は存続していく。 ・登り口の拡張については、多額の予算を必要とするため、費用対効果など更なる検討が必要。
	弓削体育館	弓削中学校の部活等にも活用されており、今後も多くの利用が見込まれるため、現在と同様の形態にて存続。	・施設の長寿命化を図り存続とするのが妥当である。		当面は存続していく予定である。
	生名体育館	避難所として指定されているため存続とするが、代替施設となり得る施設（生名小学校屋内運動場）が近くにあるため、更なる検討を行い判断。	・橋で4島が繋がったので、立派な体育館を一つにして、そこを使ってもらうのも良いのではないか。 ・既存施設は、使用可能な時まで使用して、一つにすべきではないか。 ・引き続き検討を行い、当面は存続でも良いのではないか。	耐用年数が到来する令和12年度を目途に廃止の方向性とし、それまでは大規模な修繕等は行わない。	・少額な修繕等で管理しながら、令和12年度を目途に廃止する予定である。跡地利用等の検討が必要である。
	岩城総合運動場（体育館）	近隣に代替施設もなく、避難施設にも指定されているため、現在と同様の形態で存続。	・児童、生徒が地域の学校にいる間は存続させた方が良いのではないか。 ・いずれは、各島で同様の施設を統合する必要はあると思うが、現時点では存続とすべき。		当面は存続していく予定である。
スポーツ系施設	全般（3）	町内におけるスポーツ振興、健康増進に寄与する重要な施設であるものの、住民一人当たりの面積が県内の他町と比べ、比較的大きい状況であること、また、上島町公共施設等総合管理計画においても、統廃合や用途変更を含めた将来のあり方を検討することとしていることから、代替施設を活用して統廃合を進めてはどうか。	・建物だけでなく、テニスコートやグラウンドゴルフ場等の施設についても運営方法の検討、運営コストの検証等が必要である。 ・オノ木亭前のゲートボール場については、何年も使われていない。見晴らしも良いのでキャンプ場という話もあったので検討すべき。		・利用人数や利用頻度等から、維持管理の方法や費用の検証を行う。 ・オノ木亭前のゲートボール場は、現在スポーツ協会の団体が利用中であり、利用がなくなるまでは存続する予定。
観光・レクリエーション系施設	インランド・シー・リゾート フェスパ	指定管理施設であり、経費削減を実施しながら少しずつ売り上げを増やしており、今後の利用増加もおおいに見込める施設であるため存続。	・施設の長寿命化を図り存続とするのが妥当である。		町の数少ない宿泊施設のため、長寿命化を図りつつ存続とする。
	岩城観光センター	岩城港の港務所だけでなく、特産品の売店や喫茶、レンタサイクルのターミナルという機能も併設されており、公共交通及び観光の重要な拠点として位置づけられているため存続。	・施設の長寿命化を図り存続とするのが妥当である。		岩城の玄関口として、特産品の売店や喫茶、レンタサイクル施設として岩城に唯一の拠点となる施設なので、長寿命化を図り存続とするのが妥当である。

施設用途分類	施設名称	担当課意見	協議会意見	検討事項等	担当課再検討
観光・レクリエーション系施設	魚島観光センター	島内唯一の宿泊可能な施設であり、観光、工事の施工等の際に必要な施設であるため存続。	・現在の指定管理者も運営が難しいのではないかと うが指定管理者がいなくなった後はどうするのか。 ・「存続」することは良いが、指定管理者の申請が なくなった場合について、検討する必要があるのでは ないか。	指定管理者がいなくなった場 合の対応について要検討。	島内唯一の宿泊可能な施設であり、観光、工事 の施工等の際に必要な施設であるため、通常の 公募で応募がなかった場合は、協力隊制度の活 用等募集方法を検討し、運営の存続を図る。
	サウンド波間田	今後も利用者が増加する見込みもある施設となる ため存続。	・リピーターが増えるように魅力のある施設にする必 要がある。		カフェをオープンする等、魅力ある取組みを行 い集客に努めており、観光ツールの一つとして 必要なため長寿命化を図りつつ存続とする。
産業系施設	体験研修施設「知新館」	農林水産業体験施設は他になく、宿泊施設も整備 され、遠方からの受入れも可能な施設であるため 存続。	・存続とするのが妥当である。		存続とする。
	共同作業場	漁業事業者の作業場として利用されており、使用 可能な間は使用することとし、不要となった際 に、解体等を検討。	・使用されなくなった時点で解体が妥当である。		今後5年間は使用予定。 使用しなくなった時は使用者と相談しながら解 体を検討する。
	獣肉処理加工施設	鳥獣害防止及び獣肉の特産品化による地域の活性 化に寄与する施設であるため存続。	・存続とするのが妥当である。		存続とする。
	味の伝承館	みそ等の地域特産品を作り、地域振興及び活性化 を図るための施設であり、定期的な利用があるた め存続。	・存続とするのが妥当である。		存続とする。
	魚島冷凍冷蔵施設	漁業者の生産性向上と所得の安定を図るための施 設であり、現在は鮮魚の販路が確立され、使用を 中止しているが、再稼働の必要性が生じた時に向 け、維持管理を行う。	・使用する際に稼働できなかった時は、メンテナン スをするか、建替えになると思うが、建替えの必要 は無いのではないか。		漁業者の生産性向上と所得の安定を図るための 施設であり、現在は鮮魚の販路が確立され、使 用を中止しているが、再稼働の必要性が生じた 際に必要なため存続する。 (メンテナンスにて対応)
保健・福祉施設	岩城高齢者生活福祉センター	社会福祉協議会に指定管理施設として運営を委託 している施設であり、通所介護施設として需要が あるため存続。	・民間のデイサービス事業所が少ない本町において は、各島に必要なものだと思う。		社会福祉協議会に指定管理施設として運営を委 託している施設であり、通所介護施設として需 要があるため存続。 今後、利用者の減少により統廃合するか検討す る。
	弓削高齢者生活福祉センター				
	生名デイサービスセンター				
	魚島保健福祉センター（魚島デイサービスセンター）	直営事業所で通所介護施設また訪問介護事業の事 務所となっており需要があるため存続。	他に介護サービス事業を提供する施設が無く必要がある		直営事業所で通所介護施設また訪問介護事業の 事務所となっており需要があるため存続。
医療施設	魚島国民健康保険診療所	魚島地区において、常駐医師と看護師が緊急時の 応急処置をはじめ、慢性疾患患者の治療、救急搬 送用務を行うなど、地区住民の命を守る重要な施 設であるため存続。	・島に一つしかない診療所であることから存続する以 外にはない。 ・人口減少により利用者が少なくなっても、島に は診療所が必要であり、今後も存続して欲しい。		魚島地区において、常駐医師と看護師が緊急時 の応急処置をはじめ、慢性疾患患者の治療、救 急搬送用務を行うなど、地区住民の命を守る重 要な施設であるため存続。
	魚島診療所医師住宅	魚島診療所を運営するにあたり必要な施設である ため、医師が常駐している間は存続。	・存続とするのが妥当である。		魚島診療所を運営するにあたり必要な施設であ るため、医師が常駐している間は存続。
	岩城診療所	保健医療福祉と連携した医療の場として存続。	・建物は存続で良いと思うが、医師の後継者をどうす るかが非常に重要である。		保健医療福祉と連携した医療の場として存続。

施設用途分類	施設名称	担当課意見	協議会意見	検討事項等	担当課再検討
行政系施設	魚島総合支所	1階には町民生活課、産業建設課、教育課を設置。2階には会議室、書庫、ロッカールームがあり、魚島地区における行政サービスのほとんどがこの施設で提供できるようになっている。また、災害時は上島町災害対策本部との連絡等対応拠点として整備しているため存続	・ 存続とするのが妥当である。		魚島地区における行政サービスのほとんどがこの施設で提供できるようになっている。また、災害時は上島町災害対策本部との連絡等対応拠点として整備しているため存続。
	消防本部	消防業務を遂行するためには不可欠であり、災害対策活動拠点としても重要な施設である。また、救急艇管理を行う上で、立地条件についても適した場所であることから存続。	・ 施設の長寿命化を図り存続とするのが妥当である。		施設の長寿命化を図り存続する。
定住促進住宅	魚島第3住宅	代替施設もなく、継続して使用可能な施設であることから存続。	・ 施設の長寿命化を図り存続とするのが妥当である。		長寿命化計画に基づき、修繕・工事を実施しており、継続可能な存続が必要な施設。
	魚島第2住宅（4階後継者住宅）	代替施設もなく、継続して使用可能な施設であることから存続。	・ 施設全体の塗装が剥げかかっており、防塩等も考えて、痛みが酷くならないうちに塗装を実施すべき。 ・ 施設の長寿命化を図り存続とするのが妥当である。	防塩等を考慮した塗装工事の検討。	上島町公営住宅等長寿命化計画(R3.01更新)に基づき、令和8年度に屋根・外壁改修の実施し、継続可能な存続が必要な施設。
供給処理施設	岩城浄化センター	住民のライフラインを担っており、水域の環境保全を目的とした污水处理を行うために必要不可欠な施設であるため存続。	・ 下水道料金についての見直しが必要ではないか。 ・ 施設については、長寿命化を図り存続とするのが妥当である。	今後料金の見直しを検討する。	料金については、令和6年4月から公営企業会計に移行したため、経営状況を確認しながら、今後適正な料金の見直しを行う。 施設には住民のライフラインを担っており、必要不可欠な施設であるため、存続とする。
	弓削浄化センター				
	佐島浄化センター				
	生名浄化センター				
供給処理施設	岩城クリーンセンター	不燃物の破碎と圧縮機能を持った代替施設がないため存続。 設備等の更新の際には、上島クリーンセンター又は最終処分場への施設を検討。	・ 使用可能な間は存続とし、設備等の更新の際に移設等を検討してはどうか。 ・ 岩城住民としては、存続して欲しいという気持ちもあると思うので検討の際には参考としていただきたい。		町内唯一の不燃物の破碎と圧縮機能を備えた設備として、また資源ごみ等のストックヤードでの使用をしており、統廃合の場合には、上島クリーンセンターの増設又は新規施設建設等の代替施設が必要になるため、存続。
	上島クリーンセンター	町内全てのゴミ焼却を行っている施設であり、代替施設もないため存続。	・ 施設の長寿命化を図り存続とするのが妥当である。		町内唯一の一般廃棄物焼却処理施設であり、令和4年度に長寿命化計画を策定し、令和22年までの延命化を決定しているため存続。
	全般（13）	住民のライフラインを担っており、水域の環境保全を目的とした污水处理、廃棄物の処理等、生活に欠かせない施設であるため存続。	・ 存続とするのが妥当である。		存続とする。
その他建築系公共施設	弓削港務所	弓削高校や弓削商船の生徒が多く利用しているため存続。	・ 存続が妥当である。（特に意見なし）		存続とする。
	生名港待合所	定期船利用者が一定数おり、2階会議所は、漁協が使用しているため存続。	・ 2階は殆ど使用しておらず、建物も耐用年数が経過し、老朽化しているため、コンパクトに建替えが良いのではないかと。 ・ 快速船を立石港に寄港するよう芸予汽船と調整して生名港を廃止することも検討してはどうか。	2階会議所の貸し出し決定。	2階会議所は使用申請があり、現在カフェとして使用しております。施設についても屋上防水等の改修を行っていることから継続使用を予定しています。
	立石港務所	岩城橋開通に伴い更に利用増加が見込まれるため存続。	・ 存続が妥当である。（特に意見なし）		存続とする。

施設用途分類	施設名称	担当課意見	協議会意見	検討事項等	担当課再検討
その他建築系公共施設	CATV（本局）	町の情報発信拠点施設であり、代替施設もないことから存続。	・存続が妥当である。（特に意見なし）		町の情報発信拠点施設であり、代替施設もないことから存続。
	公衆トイレ・公園内トイレ	比較的新しい建物が多く、上島町のトイレは綺麗で使いやすいと好評をいただいております、観光等の観点から存続。	・町民も利用しているため、このまま存続として欲しい。 ・使い勝手が良いところに建築されており、配置については十分である。		協議会意見の通り存続とする。